

癸亥 春林軒續藥方冊(一)

高橋 均、坂田育弘、児玉重隆

華岡青洲は、江戸時代後期に活躍した外科医であり、彼も偉大な業績は世界に先駆け、麻沸散(別名・通仙散)を用いて全身麻酔下乳癌摘出術を施行したことである。華岡青洲自らが書き著した診療録は、天理大学附属天理図書館所蔵の乳巖治験録と和歌山、華岡洋之介氏所蔵の八葉の治験録(稿本)のみとされてきた。特に後者の治験録は原本が失われており、現在、高橋 震氏所蔵の春林軒奇患図で、その詳細が伝わるのみである。

華岡青洲が診療にあたり、門人を教育した家塾は、春林軒と命名され、平成十一年五月に修復再建された。春林軒の母屋の一室は、現在描かれている襖絵ではなく、丹波素後が描いた四枚の襖絵にて彩られていた。本論文で提示する春林軒續藥方冊は、その襖絵下の張り紙の中から発見されたもので、四十一通の華岡家宛書簡類とともに発見されたものである。これらの書簡類は一八二五年から三五五年にかけてのものである。本春林軒續藥方冊は、癸亥の年号が書かれており、享和三年、すなわち一八〇三年にあたり、華岡青洲が乳癌摘出術を施行した前年に編纂されたものである。

本春林軒續藥方冊は、元所蔵者の楠原栄一氏が四枚の襖絵

毎に分冊し、現在四分冊となっている。冊子への復元は、楠原栄一氏が行い、襖絵毎に下張りの順に行っているが、下張り一枚一枚の前後関係を示す丁付けはなく、華岡家が襖を複製した際に、すでに春林軒續藥方冊の順序はバラバラになっていたものと思われる。現存の下張りは、前記のごとく完具するものではなく、下張り作製時に、既に欠損していたと見られる。冊子に復元した楠原栄一氏の言によると、下張りの上より順に冊子を作成したもので、復元の際の手順に問題はないものと思われる。この薬方冊の第一冊は本紙二十三枚、第二冊は二十三枚、第三冊は十六枚、第四冊は二十八枚より構成されている。本紙の表題の「癸亥 春林軒續藥方冊」は、下張りの表紙にあり、書体は本文と同筆で、おそらく華岡青洲自身が書き著したものと推定される。春林軒續藥方冊の著者は、その筆跡から少なくとも三筆が見受けられ、華岡青洲自身と門人のうちの高弟が青洲の診察の傍らに同席し、口述筆記したものと考えられる。表題を含めて本文中も華岡青洲自身の筆跡と見られる部分が多々あるものの同定は困難である。筆跡学者により、青洲自身が直接筆を取り書いたものか、門人の誰かが口述筆記したものを明らかにしていく必要がある。現在の所蔵者は、第一、第二分冊が高橋 震氏、第三分冊が池田 章氏、第四分冊が楠原栄一氏である。今回、各所蔵者のご厚意により、本薬方冊を複製し翻刻が行えた。

春林軒續藥方冊の内容は、処方した薬方名、処方の回数、

変更した処方名、患者の氏名、患者の住所、臨床症状からなる。薬方名からは、文久元年（一八六一）佐藤持敬の作成した華岡氏遺書目録に掲載されている青洲口述の処方録に見当たらないものも見られる。患者の住所からは、本薬方冊は乳癌摘出術施行直前のものであり、青洲の名声が紀州藩以外に鳴り響いていなかったものと思われる。春林軒を訪れた患者の大部分が紀州藩那賀郡並びに伊都郡の色々な村々からなっており、青洲の名声が紀ノ川流域に広範に及んでいたことがわかる。患者の氏名からは、名手組大庄屋を務めた妹背四郎五郎の名前が見られ、青洲の妻加恵の自家筋にあたるものである。受診者の多くは、小児もしくは婦女子であり、江戸時代後期の農民の多くが子供を大切にしていたことがわかる。処方回数（受診回数）は、玉の画数で書かれており、一回の投薬日数は不明であるが、多くの人々がたびたび受診していたものと思われる。臨床症状が書き記されていることは珍しく、ほとんどが青洲の脳裏の中のみあり、どのような疾患に対して処方を行っていたかは想像できない。

本薬方冊を解説し、古方派の東洋医学者の意見を聞くことで少しでも華岡青洲が実臨床で、日常的に扱っていた疾患を明らかにし、江戸時代後期における紀州藩紀ノ川流域における疾病像を解明できると期待する。

（表紙）
癸亥 春林軒續薬方冊

（第一紙）

林丸一
一、小青龍湯 咳発熱 瀨之山 元五郎 児

三 福垣内 利七 児

一、生姜瀉心湯 腹鳴下利 村 婦

王 二 村 婦

一、半夏瀉心 二 村 婦

一、七白加宿 玉二小青 木通丸一 つか月 宇兵衛 児

一、圭支人參湯 発熱下利 市場 児

三 小青龍二 六物玉 赤尾 善兵衛 児

一、鷓鴣菜加半 林丸二 赤尾 善兵衛 児

一、鷓鴣菜加半 三 赤尾 善兵衛 児

（第二紙）

西川原

一、越婢加朮堯包

惣右衛門

(第三紙)

玉 ヲフリウン一治瘡五十

雄黄末一

夷一 芎朮

東村 吉五郎

針治

一、当芍湯 サンガネ兼用

九寿村 重蔵

小半夏加茯苓一

西三原

玉玉玉玉玉

内

一、鶴嶋菜湯

玉 圭人二 白頭加甘玉玉玉

平六

半夏丸大ヒ玉玉玉

加采違志湯玉玉玉玉玉

兼三黄丸大ヒ玉玉玉

圭苓加嶋玉玉玉玉玉

同所

一、圭支加芍薬大黃湯 玉 圭参玉

西川原 左吉

一、麻黄醇酒湯

吉蔵

内

一、甘連大加海

下村 半次郎

玉二

尤二十粒 重光二林峯

三

男

一、治瘡丸 吹口散一

健二郎 児

一、鶴嶋菜湯

同人

一 七白柴梔山連三

三 加そ三

同人

二三日 起発六分一日 移り

紫丸十五一 二十 三十

同人

一、葛根加半鷓

忠右衛門 妹娘

一、甘連大加海

干 甘連大加梔子二

同人

三

針 重光二

粉川花屋

解毒加海三

中畑

一、七白柴梔

安右衛門

(第四紙)

入

三

一、七白 羸瘦腹熱腹脹有虺状

茂兵衛

三 大柴加亡玉玉 紫丸每日五

兒

三

洗薬二

かりしく

赤龍湯三

同所

兒

一、赤龍湯

助六

一、七白

文助

入

玉

福垣内

男

玉

打田

兒

一、鷓鴣菜湯 甘遂二分
紫丸二十四十

幸左右工門

海人加半二

要助

人

三 加消玉 海人湯玉一

兒

一、七白

粉川根来小路

兒

廿三日 麻杏甘石三 越婢加半玉一 皁莢丸二

紛川中町

十三日

粉川根来小路

兒

一、赤龍湯

正木屋吉之助

一、鷓鴣菜加半夏

仙助

兒

玉二

兒

腹中有虻状不欲食

十三日

紛川瓦屋

入

一、解毒加甘十湯

源助

一、五苓散 発熱下利而渴

新兵衛

入

玉一

兒

三 七白二味 卮加三 赤龍丸五分入

林峯

婦

一、黄連解毒

江川

一、乾姜人參半夏丸

番次郎

婦

三

源兵衛

海人入

林峯

婦

兼方甘連消石湯加海三

岩出

一、葛良加海

清次郎

女子

一、大柴胡湯 シ丸二分

榊新右衛門

三

同所

女子

玉玉加亡消玉玉

同所

一、葛良

同所

某

一、解毒加紅花紫丸壹匁

同人

一、葛良

同所

某

シ丸十五

同人

一、葛良

同所

某

シ丸十五

同人

一、葛良

同所

某

シ丸十五

同人

一、葛良

同所

某

シ丸十五

同人

一、葛良

同所

某

シ丸十五

同人

(第五紙)

(第六紙)

王 甘連大黃三

一、甘連大黃加消海 四五度二易

玉三 海人消石丸二匁吹皿一小兒

甘写玉二 赤龍玉玉 麦門加連玉

黃花解毒加甘玉

一、麻杏甘石湯 大劑

玉玉玉三 瓜テヒ五分

兼以南呂三匁二分三

梅肉シ壹匁五分

一、甘連消石海人湯

玉一 解毒加苓三去玉

(第七紙)

木通丸五十粒

一、越婢加半湯

三 赤龍丸五十二

一、甘写 吹葉 王

玉玉一 七白加海三

一、鷓鴣菜湯

三 一服返り加橘皮三

岩出

勤兵衛

小兒

一、七白加海

玉

木通丸一五十粒

麻生津中松

兵次郎

兒

木通丸一、五十、妙寺

一、越婢加朮

每拾五

善右衛門

兒

宮村

神主

一、右同方

玉 甘連大加海玉玉 半瀉玉

穴ぶし

秀右衛門

女

同人

小兒

一、五苓散

(第八紙)

西ノ山

元五郎

兒

紛川大坂屋

藤兵衛

兒

丁ノ町

平吉

兒

一、卮子干姜湯

三

吹葉一

市バ

次郎吉

兒

一、小青龍湯

玉二 南呂二卷匁ツゝ入毎日五分ツゝ兒

甘連丸二

十四日 一、小青龍湯 紫九十粒

玉 甘連大加花三 小青三

はし本御殿原

源助

すじかい

友次郎

兒

西川原

糸右衛門

滝

一、姜圭

王玉玉 赤龍湯 王玉玉

大効 紫丸四十粒、目星の反症三

同紫丸貳拾粒二十五入

太郎次

小兒

一、越婢加朮

玉

千藏

兒

一、甘連大加卮花

二 紫丸十五粒一

甘連大海丸一老匄

小青加海玉玉 南呂二一棧

横谷

丈助

兒

一、生写
玉 六物玉玉 生写玉

(第十紙)

岩出材木屋

中助

婦

後

豊七

婦

一、小青龍

王

紫丸一 毎日五

(第九紙)

久保

青蔵

御小兒

一、葛良湯

玉王 甘石膏 大柴三 鷓鴣加亡三

大柴大劑玉王 鷓鴣菜加亡玉一

林峯

平助

村

利助

婦

一、越婢加朮

三

もし不効なる時ハ

一、葛加青將 次の度越婢加半

玉

せの山

幸右衛門

男

一、葛良湯

玉玉

一、鷓鴣菜湯

玉

同人

小兒

林丸一

兄三谷

岩出

一、葛良加木附
三

仲助
家来

(第十二紙)

(第十一紙)

三月一日

一、甘連大黃加花

伴五郎
兒

一、白朮
五王

大寸中村
栄藏

二日

一、小柴胡湯

野上平山
清蔵
娘

一、葛良湯
玉一

上村
嘉重良

玉 小青龍玉三服返り

野上
重右衛門
次男

一、七白湯
王

平野村
古酒屋
小兒

一、右中丸

一 大青龍玉

清七郎
取次

一、小半氣湯
玉

杉原
助三郎
兒

三月二日

一、机承

三 当帰湯三 当建玉三

江川
勘之丞
婦

タメ下シ
鳥目

江川

一、圭參湯

三 海人湯加消三

一、解毒加紅花
玉

四味之洗薬二
白眼赤し

一、厚卜生姜半夏甘草人参加海玉三

一、机承玉三

権太郎
娘

一、鷓鴣菜湯
玉

(第十三紙)

三日

一、厚卜生姜半夏甘草人参加芥木湯

玉 三勺入每三分ツツ

消埋一

一、鷓鴣菜湯
玉

かせ田東村
嘉兵衛
男

赤龍丸一

丁之町

十月九日

穴伏

一、厚卜麻黄湯

用助

一、厚卜麻黄湯

林丸二 五分

吉助

三

児

三

児

十三日 シ丸

かせ田東村

一、小青龍湯

清二郎

一、赤龍湯

番次郎

玉玉玉

穴伏

玉一 大柴三 本方二

福垣内

一、厚卜麻黄湯

林丸一

喜太郎

一、厚卜麻黄

佐五八

三

児

玉三 小三日三

大柴加亡三

児

一、生写 消丸一 壹匁

移り村

去亡二

利り車屋

玉

忠兵衛

一、厚卜七西

清蔵

一、同方

西之尾

玉

村

玉

熊右衛門

一、瓜萇圭支湯

萬助

玉

中村

玉 大玉玉玉

弟

三

左次右衛門

海人加亡玉玉玉去消

富松

一、海人加消

(第十五紙)

中尾

一、圭支考芍薬加芥木湯

佐野

一、海人加消

弥五兵衛

(第十四紙)

仁兵衛

玉一

娘

三 腹満短気

児

大紙加海三

姜圭玉

一、圭支考芍薬加芥木湯

児

大紙加海三

木防加芥玉一

三 腹満短気

児

大紙加海三

木防加芥玉一

三 腹満短気

児

大紙加海三

木防加芥玉一

一、三黄湯加地
玉玉玉玉玉二

重光丸玉

一、七白加青

玉 眼疾尤 三分ツツ麦飯

羸瘦下利渴

針 重光玉三

一、同方

玉玉玉

九聖大七二

一、半夏加朮

王

(第十八紙)

重光二

一、家方厄紅

玉

同所

一、重光丸

二

米屋

娘

当村

利兵衛

女

一、鷓鴣加朴硝

玉二

同中嶋

又兵衛

一、小青龍南呂丸
玉

妙寺

兵藏

児

三日

一、桃承加牡丹 天七

内

市原新田

善兵衛

児

一、輪茗湯
重光玉一

玉

西渡田 孝助

年子

西川原

善次郎

児

(第十九紙)

同

一、葛根加半鷓 治瘡ナ玉一
テリヤアカ七分

玉三 加大黄玉玉三 圭龍七服玉玉玉

男熊之助

同所

幾兵衛

児

一、葛良加圭

玉

井関氏

娘

一、建中湯

兼重光中ヒ一棧ツツ王
迦軛茯苓建中加夏介

玉玉玉玉

カギヤ 主人

洗薬、尤巴豆二入

一、葛根加大薏苡

福垣内

おつち

当むら

利兵衛

大松

嘉助

一、青龍湯山鷓

玉

重光玉玉王尤小也

一、稱蒙肉豆

玉玉

友ふち

三六
児

要 荘

児

一、半夏加廣土

二

シ丸七七順気七

(第二十一紙)

喜右衛門

一、赤龍湯 吹藥玉

玉 黄連解毒玉 甘草干姜一

吹藥二針

善二郎

児

村

(第二十紙)

一、柴太加石鷓

玉玉 小青龍湯玉玉玉

加黄土杏仁玉玉三

福垣内

婦

新蔵

浮府湯三

粉川横町

善兵衛

西川原

児

一、同方 小有閉昏睡

玉 胃口加青玉一

半夏胃口四服返り玉二 真武三

重行村

児

津田武右エ門

一、青龍湯 テリアカ二分

玉玉 甘瀉心湯三

鳴之介

児

林丸一

一、七白加厚香川 乏食

細物屋

平八

児

一、半夏加黄土

玉

治瘡丸二十五

庄右衛門

一、芍方

玉玉 針八丸二

勢田村

浅八

児

一、赤龍湯

玉

伏原 五郎兵衛

一、黄連解毒湯

シ丸三十五入 ヤニメ

古和田

多七

男

野上村

(第二十二紙)

針治

一、小青龍

玉 加海人 重光二
重光玉玉

一、七白加土青香附厚

玉玉玉

当芍七大四玉

一、小青龍加鷓

玉玉玉玉

テリアカ四分

一、小青龍湯

二

一、小青龍加鷓

玉

針治 重光玉

一、梅蒙

玉

市場

天佐

竹房 窪 兒

新右衛門

松井

甚蔵

同所 妻

兵蔵

西之尾 兒

弥八

狩宿 娘

白大夫

同所 兒

一、小柴胡湯

玉玉玉 大承玉玉 三貼通り
鷓鴣菜加亡消玉

紫丸一雀月十五粒

一、甘連將

玉 海人湯三 圭支加芥木附三

一、黄芥湯

玉 鷓鴣菜湯三

林鐘丸一

一、甘連將

玉 葛良三 海人玉

甘連將加海玉一

一、鷓鴣菜湯

玉

同所

源花

足上

中門花

東川原

久兵衛

西之山

利助

兒

林峯

兵助

女子

(近畿大学医学部附属病院救命救急センター)

(第二十三紙)

一、黄連解毒

三

同所

藤五良

婦